



あなたの地域の「ごみ減量推進員」

環境・経済と密接なごみの問題

地域で活躍するごみ減量推進員

私たちの身の回りのものは、限りある地球の資源を使って作られ、これらをごみとして処理するときにも燃料などの資源が使われます。ごみが増えると、それだけ多くの資源を使う必要が出てしまいます。さらに、ごみを燃やすと温室効果ガスである二酸化炭素が発生するため、地球温暖化といった地球環境への影響も懸念されます。

ごみの処理にもお金がかかり、その費用は指定ごみ袋などによるごみ処理手数料と税金で賄われています。そのため、ごみの排出量を減らし、ごみ処理費用を削減できれば、その分の税金を教育や福祉、インフラの整備などに充てることができます。

意外と知られていない 身近なごみのハナシ

【ごみが最後に行くところ】
ごみを燃やした後の焼却灰などは最終処分場に埋め立てられます。現在の市の最終処分場は平成32年度末に満杯になる予定です。このため、次の最終処分場の整備を進めていますが、整備には莫大な費用がかかります。最終処分場を1日でも長く使えるようごみを減らす必要があります。



【主な活動】 正しいごみの分け方出し方の呼び掛け、ごみステーションの管理に関する相談対応・届出確認・調査報告、不法投棄防止活動、ボランティア袋の配付など。写真はごみステーションに看板を取り付けているところ

ごみの減量や資源化率向上は、一人ひとりが意識を持って行政と力を合わせて取り組まなければ実現できません。そのために市では、ごみ減量推進員制度を導入しています。

この制度では、自治会ごとに原則1人、市全体で244人の「ごみ減量推進員」を委嘱し、活動を行っていただいています。

「ごみ減量推進員制度の目的」

- ・地域の中からごみ減量に取り組む意識を育てること
- ・地域の中から不法投棄をさせない環境を作っていくこと

Interview

ごみ減量推進員インタビュー
地域をあげてごみを減らし、気持ちよく住める地域にしたいですね



新緑町
ごみ減量推進員
あたたか安宅 三子さん

平成20年のごみ減量推進員制度ができた当初から新緑町の推進員を務める安宅さんに話を伺いました。

浸透してきたごみの分け方出し方
9年以上活動してきて感じるのは、ごみの分け方出し方が徐々に浸透し、違反ごみが減ってきたこと。ごみステーションもきれいになりました。違反ごみの分別や捨てられたごみを拾う際に使うボランティア袋の配付も推進員の役目なのですが、地域の皆さんの理解もあり、配付実績もありません。アパートは市外から転入する人が多いせいか散らかりやすい傾向にありますが、管理会社と話し合いを重ね、定期的に見回りや清掃などを行うようになった事例もあります。

減量化のために身近なことを継続する
私自身は、微生物を使って生ごみを合っています。

ごみの問題だけではない 助け合える地域づくりを目指して
高齢者や障害者のごみ出しに困ったときは近所で声を掛けてサポートし、助け合える地域づくりが必要だと思います。安否確認にもなりますね。新緑町では自治公民館でさまざまな行事を行っているの、みんなが顔見知りという雰囲気。何かあれば声を掛け合っています。

1 Reduce
ごみを発生させないようにしよう

- ☑ 必要ないものを買わない、もらわない
- ☑ マイバッグ、マイ箸、水筒を使う
- ☑ 詰め替え製品を使う

2 Reuse
物はくり返し長く使おう

- ☑ 壊れても修理して使う
- ☑ いらなくなったものを譲り合う
- ☑ リサイクルショップを利用する

10月は 3R推進月間
マイ・バッグ・キャンペーン強化月間

3 Recycle
ごみを資源として再生利用しよう

- ☑ ごみを正しく分別する
- ☑ リサイクル製品を選んで購入する

知っていますか 地球に優しい3R

3Rとは、Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再生利用の頭文字をとったもので、ごみ減量の合言葉です。ごみを減らし、限りある地球の資源を有効にくり返し使う「循環型社会」を目指して、身近なところから3Rを始めましょう。

例えば、買い物にはマイバッグを持ち参り、レジ袋や過剰包装を辞退するなど、「環境にやさしい買い物」を実践しましょう。

財布にも環境にも優しいリサイクル

資源物の拠点回収を上手に利用してください

【回収場所一覧：施設の入り口付近に設置】

- A 【蛍光管、白色トレイ・白色発泡スチロール、廃食用油】**
本庁舎・西那須野庁舎・塩原庁舎・箒根出張所・那須塩原クリーンセンター・市営の公民館・保健センター・図書館
- B 【個人情報を含む小型家電】**
本庁舎・西那須野庁舎・塩原庁舎・箒根出張所・那須塩原クリーンセンター

【利用にあたって】

- ・施設が空いている時間であればいつでも持ち込みできます
- ・袋に入れずに直接回収ボックスへ入れてください
- ・家庭から出た資源物以外は回収できません



回収ボックス(本庁舎)

蛍光管はごみステーションに出せません

蛍光管に含まれる水銀を安全に処理するため、**拠点回収のみ**としています。できるだけ割らないようにしてください。割れてしまったときは、危険がないように透明な袋に入れてから回収ボックスに入れてください。

【注意】 蛍光管(球)以外の白熱電球、グロー球、なつめ球、LED電球は不燃ごみ

白色トレイ・白色発泡スチロールは拠点回収ならいつでも受け付け中

白色トレイ・白色発泡スチロールのステーション回収日は、月初めの「紙パック・雑誌・その他の紙」の日(月1回)のみですが、拠点回収ではいつでも出すことができます。水洗いし、ステーション回収のときは45ℓの大きさまでの透明な袋に入れて出してください。**【注意】** 色やシールのついているもの、汚れやにおいがとれないものは**可燃ごみ**

廃食用油(使用済み天ぷら油)のリサイクルにご協力ください

液体で植物性の食用油のみ

廃食用油を市販の油凝固剤で固めたり、新聞紙や古布などに染み込ませたりしたものは可燃ごみになりますが、油をこして、ペットボトルに入れば拠点回収に出せます(賞味期限切れのものはそのまま出せます)。この場合、ごみ袋を使わずに済むので財布にも優しいです。ふたをしっかり閉めてください。

個人情報を含む小型家電は拠点回収へ

携帯電話、デジタルカメラ、携帯音楽プレイヤー・ゲーム機、USBメモリー、ICレコーダー など

小型家電は、都市鉱山、ともいわれる有用な金属資源。個人情報を含むものは、データを消去してから回収ボックスに入れてください。個人情報を含まないものは、45ℓの大きさまでの透明な袋に入れてステーションに出してください。いずれも電池は外してください。

「ごみを正しく分別する」まずはここから始めましょう。
あなたが出している可燃ごみ、不燃ごみの中に資源物はありませんか。資源物を回収に出す際は、有料の指定ごみ袋を使いません。お財布にも優しいごみ減量・資源化に取り組みましょう。